

研究名: 腹部手術後の腹膜透析患者における腹膜透析再開期間と合併症の 関連の検討

1. 研究の目的

腹膜透析患者では腹部手術後の腹膜透析再開に伴い、合併症としての感染やリークが懸念されます。しかし、安全といえる明確な待機期間はわかっておらず、特に小児患者では多数例での検討はされておられません。今回当院の腹膜透析患者を対象に、小児期に腹膜透析を導入した患者が腹部手術を行った後の腹膜透析開始までの期間と安全性を検討します。

2. 研究の方法

研究対象：当センターで2006年5月から2021年12月までに腹膜透析管理中に腹部手術をされた患者さん

研究期間：倫理審査委員会承認後から2023(令和5)年12月31日まで

研究方法：観察期間中に当院で初回テコフカテーテル挿入術以降に腹部手術を行った患者を対象とし、術後腹膜透析開始期間と合併症の関連を検討します。

3. 研究に用いる情報の種類

(電子カルテより、年齢、性別、原疾患、残腎機能、腹部手術の理由・疾患・術式、PD導入時年齢、手術時年齢(挿入後からどれくらい時間経過しているか)、術後の合併症などのデータを収集します。試料は特にありません。

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、**個人情報は保守**されます。

4. 情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター

6 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲
内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代
理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、**2022年12月
31日までに**下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が
生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 腎臓リウマチ膠原病科 亀井宏一

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7467）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 腎臓リウマチ膠原病科 猪野木雄太